高学年分科会　単元名 「オオブロを進化させよう」(大一小)「松葉超（スーパー）BRG」(松葉小)　（全３時間）単元構造

ねらい：表現の工夫の他にもブログのよさがあることを知り、表現の仕方への意識を高める。

光村図書		1学期				2学期				3学期		
		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6年	年間計画			プロジェクトBlog（12h） ブログを書いてみよう（1h） プロジェクト① 表現の工夫（3h）			プロジェクト② 題材・文体・構成・コメント（3h）	プロジェクト③ 魅力的な文章とは（4h）	プロジェクト④ 卒業文集に向けて（1h）			
	常時活動		俳句（春） 「言葉ノート」 ブログ			俳句（夏）	俳句（秋）			俳句（冬）		
	書く			たのしみは	デジタル機器と私たち	文章を推敲しよう		発見、日本文化のみりょく	おすすめパンフレット	卒業文集	大切にしたい言葉	
	話す聞く		聞いて考えを深めよう			対話の練習 いちばん大事なものは	みんなで楽しく過ごすために				今、私は、ぼくは	
	読む	帰り道	時計の時間と心の時間		私と本	せんねんまんねん	やまなし	『鳥獣戯画』を読む	ぼくのブック・ウーマン	「考える」とは		海の命
	着目した表現	空一面からシャワーの水が降ってきた（比喩） 公園の新緑がふりまく初夏のにおい（情景描写）	私はこれを、～と呼んでいます。 ～とは、～のことです。	星座探し出す時 星座見付け合う時	きっかけは～ ～ということを知った。 ～ということがあった。 ～起こっている。それは、～だからだ。	～昇って昇って昇りつめて（反復） そのワニを川がのむ（擬人法） あつい血の樹液をもつ（比喩）	五月と十一月、明と暗（対比） 青白い、青く暗く、日光の黄金（色彩表現） かぷかぷ、つぶつぶ、つうと（オノマトペ）	足をからめて返し技、その名はなんと、かわづ掛け（体言止め）	にわとりのひっかいたあとみたいな、がまんできない（ものの見方） ぽくぽく ぽくぽく（反復） 花がさいたようにみえてくる（比喩）		ドクドクドクドク（オノマトペ）	壮大な音楽をきいているような、 青い宝石の目（比喩）

学習活動

出合う

1 学習課題の設定
「人気ブログ」の文章を読み直して話し合い、学習の見通しをもつ。

①前回の帯単元の学習以降に書いたブログを読み直し、表現の工夫を想起する。
②前回学習した表現の工夫以外にも工夫があったことを想起する。
【考えられる視点】表現の工夫、文章の構成（起承転結、頭括型・尾括型・双括型）、話題の選択、文体の選択（敬体・常体）、題名の工夫
③本単元の学習課題を設定し、学習の計画を立てる。

親しむ

2 考えの形成
互いのブログを読み合い、よいところを見付けてコメントをし合う。

①前回の帯単元で学習した表現の工夫と、前時に見付けた新しい視点（魅力的な文章の要素）を確認する。
②お手本ブログにコメントを入れ、よさが伝わるコメントの仕方を学ぶ。
③表現の工夫の他に、新しく見付けた視点も追加して、お互いのブログのよさが伝わるようにコメントをし合う。
④コメントをもとに、ブログをよりよくするために意識したいこと（個人の学習課題）と書き直すブログを決め、学習を振り返る。

生かす

3 推敲、共有、まとめ
コメントを生かして、自分のブログを書き直し、比較検討する。

①前時の学習を振り返り、本時のめあて（個人の学習課題）を確かめる。
②コメントをもとに、よりよいブログになるように書き直す。
③書き直したものと、書き直す前のブログを読み合って比較し、表現の工夫や新しく見付けた視点の効果について話し合う。
④単元の学習を振り返る。

単元の学習課題：文章のよさを見付けてコメントし合い、表現への意識を高めよう。（仮）

○児童の意識 ◎言葉による見方・考え方

◎みんなのブログに表現の工夫が増えたね。
○私、～さんのこの言葉が好きだな。
○私も、もっとたくさんの人にいいねと思われるブログを書きたい。
○～さんのブログを読むと、表現の工夫以外にも何かこつがありそうな気がするよ。
○～さんのブログは、なんだか続きが気になっておもしろいな。
◎同じことを書いても、どんな見方・書き方をするかで印象が違うよ。
◎題名がおもしろいと読んでみたくなるね。
◎体言止めを使って短い文で書くと、テンポよく感じるね。
◎表現の工夫以外にも、よさを感じる理由があるね。
○コメントで表現の工夫を褒められると、もっと使おうと思うね。

○沢山練習したことを「何度も何度も」と同じ言葉を繰り返していていいね。
◎友達と最後まで競っている様子を、「競った」ではなくて「火花を散らす」と慣用句を使って表しているから、大人っぽく感じるのかな。
◎～さんの「ゴールをして見上げた空はどこまでも青かった。」みたいに情景描写を使ってみると、かっこいい感じがするね。
○読み手に語りかけるように書いていて、親しみがもてるね。
○題名にひかれて、つい読みたくなるね。
◎文末を常体にして短い文で書いているから、緊張感が出ているね。
◎このブログの話はネタがおもしろいって言われたから、最後に種明かしやオチがある書き方になるように書き直してみよう。いいねがもらえるかな。

○様子が伝わるねって言われたから、オノマトペをもっと使おう。
○～さんみたいに、比喩をたくさん使って書いてみよう。
○「やり切った気持ち」を、～さんみたいに情景描写を使って表したいな。やり切ったときの気持ちはどんな情景に例えるといいのかな。
◎文末を言い切ると強い感じになって難しいな。友達に相談してみよう。
◎慣用句を使って書き直した方が、文がすっきりしていいね。
◎比喩が入ったのはいいけど、何だか前より分かりにくくなったよ。これは比喩じゃない前の書き方の方がいいと思うよ。
○前よりオチがある感じに書けたと思うよ。みんなにも読んでほしいな。
◎表現の工夫や魅力的な文章の要素を使うと、書き手の思いが読み手に伝わりやすくなることが分かったよ。いいねがもらえそう。

知識・技能

（1）オ　語彙
○語彙を豊かにし、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。

（1）ク　表現の技法
○比喩や反復などの表現の工夫に気付く。

<語句をより理解するための方策>
その語句の　①有無　②言い換え　③経験の想起　④辞書的な意味　⑤動作化

<表現の工夫>
①会話、心内語　②オノマトペ　③比喩(直喩)　④慣用表現　⑤呼び掛け　⑥色彩語　⑦対比　⑧反復　⑨体言止め、倒置　⑩情景描写　⑪比喩（隠喩）

<魅力的な文章の要素>
①表現の工夫　②文章の構成　③話題の選択　④文体の選択

自己調整力

○個人の課題を設定する。
・自分の書いた文章を振り返り、よりよいブログにするための工夫ができそうなところを見付ける。
・考えたり出し合ったりしたものの中から、よりよいブログにするために使ってみたい言葉や表現を選択する。

○学習方法や形態、対話の相手を自分自身で選択する。
○何がよりよい表現なのかを見付ける。
○個人の課題を振り返り、よりよい表現を磨くためにどんなことを意識して書いていきたいかを考える。

他者との協働

○表現から受ける感じや表現の効果を話し合う。
○よりよい表現の工夫やその他の要素の効果を話し合う。
○どのように表現を工夫すると、さらによりよい表現ができそうか話し合う。

○友達の文章を読み、文章のよいところや感想を伝える。
○よりよい表現の工夫やその他の要素の効果を話し合う。

評価

知・技（1）ク
比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。

知・技（1）オ
語彙を豊かにし、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。

主体的
進んで、読み手に伝わるように書き方を工夫し、今までの学習を生かしてブログの文章を書こうとしている。
思・判・表　B（1）ウ
「書くこと」において、目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。

豊かな言語生活

ア　単元終了後の日常生活において
イ　新しい言葉や表現に興味をもち、その意味や使い方を知ろうとしたり書き留めたりしている。
ウ①　自分の伝えたいことが明確になるように、言葉や表現を吟味して書こうとしている。
②　表現の工夫等に着目し、伝える側の気持ちや考え、場面の様子等を想像しながら読んでいる。
自分の表現が相手に伝わるかどうか考え、言葉を選んだり付け加えたりして書いたり話したりしている。